

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

2015年12月号《No.6》

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002 東京都国立市東1-20-102

TEL 042-577-6181/FAX 042-577-5574

## 今月の聖句

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら夜通し羊の群れをの晩をしていた。すると、主の天使が近かずき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町であなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。

ルカによる福音書2章8節～11節

## 主題

国際会長	Wichian Boonmapajorn	「信念のあるミッション」
アジア地区会長	Edward K. W. Ong	「愛をもって奉仕をしよう」
東日本区理事	渡邊 隆	「原点に立って、未来へステップ」
あずさ部長	標 克明	「ワイズメンとして一歩前進」
武蔵野多摩会長	宮内 友弥	「共に学びあい、活かされる社会を目指して」

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにYMCAにつくそう
1. 世界的視野を持って国際親善をはかろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずることをさとう
1. 出席第一と奉仕第一とを旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

11月の出席率91% 在籍者11名 出席者10名 メネット1名 ゲスト6名 にこにこ7463円

## クリスマスを迎えて

山口 直樹

最近、小学校や中学校の音楽会や展覧会を覗く機会を得た。学年ごとにそれぞれ日頃の練習の成果を感じることができた。音楽には子どもたちをひきつけ、主体的に参加させる力がある。それまで落ち着かず、授業中もうまく参加できていなかった生徒が、音楽会の練習をしてゆく中で、非常に高い参加を

見せ、日頃の学校生活にも大変良い影響を与えている。との副校長先生の話も聞いた。いくつもの学校のイベントを見せていただいている中で、様々にそのことを感じる事ができた。

子どもたちと関わりをもって感じたことは、可能性。日々の何気ない生活の中で様々なものを吸収し、それを花開かせる機会を探っている。その機会がいつなのか、どのような時なのかは私たちにはわからない。どのような花を咲かせるかもわからない。その花の価値も私たちにはわからない。(勘違いしないようにしなければいけない。どこかの教育委員の障害を持っている子を減らす発言などは勘違いの典型的な例であろう。)

その花の価値は子ども本人がわかっていることであり、周りの我々は必死にその価値を感じる努力をしなければならぬ、ということである。そうすることで私たちも一緒に成長させてもらえる。子どもたちに感謝できる。

クリスマスを迎え、神様の最高のプレゼントは子どもたちであろうことを思い出した。

## 11月例会の様子

日時 11月11日19時 会場 西東京センター

司会 石丸ワイズ 聖書・祈祷 小坂メネット 受付 清水・渡邊ワイズ

ゲスト 権藤 徳彦ワイズ(コスモスクラブ) 浅羽 俊一郎ワイズ(山手クラブ)

大輪 匡史氏・小林文彦氏・麻生由美子氏の各リーダーOB

卓話 「ガテマラのマリンバ」 ガテマラ・マヤ文化協会理事 板村 哲也氏

板村氏バリバリの商社マン時代、ガテマラに着任その朝初めて聞いたマリンバの音色が感性の下敷きになり帰国後20年近くになるが交流は続いている。

そもそものきっかけの音色の話から始まった。深い意味を持つ音色の楽器と演奏の説明だけでは伝えきれない、用意した大量の資料でも伝えきれないもどかしい気持ちが伝わってくる。

11月例会の様子が締め切りぎりぎりになってもまだ文字に出来ないわたしは苦し紛れにガテマラコーヒーを買ってきてくれた。すっきりした味！口に残るこれは何だ！与えられる味でなくてこちら側から感じようと近づきたい味。誰かが味のランクは甘味(スイーツ)が一番下で一番上が苦味だと言ったことを思い出した。

「マリンバはシロホンに似て非なるもの音域はピアノと殆ど同じ、一台のマリンバを奏者3人で連弾もします。スペイン人が奴隷として連れてきたアフリカ人が持ってきた楽器とガテマラの先住民の楽器トウンがとても似ており奴隷と征服された者が溶け合うようにしてマリンバになりました。鍵盤はガテマラ特産の木オルミーゴかグラッミージョで初期マリンバの共鳴体はへちまのように真っ直ぐなひょうたんでした。マレットは天然ゴムで高音用と低音用があり逆に使うと音になりません。

マリンバはアメリカに渡り鍵盤はローズウッド、共鳴体は金属パイプに成り世界に広がりました。

ガテマラのマリンバの共鳴体は木製で四角柱先端が四角推になっておりその先端近く奏者側に小さな穴があり雌羊の腸で出来た仕掛けがあります、そこから聞こえる音は美しくないがそれが壊れると全然響かなくなります。」

そばで聞くと名器と言われるバイオリンの音はズウと呼ばれる濁った音が同時に出ている、それが無いバイオリンはクリアな遠鳴りが無い。モンゴルの草原で馬の背に揺られて歌うホーミーは縦笛のような声で二つの音を同時に出し低音は遠くに響く高音を下支えしている事を思い出した。

聞き手は持っているものを総動員して聞き入った。場を変えての例会も大きな共鳴があった。

## 西東京フェスティバルに思うこと

会長 宮内 友弥

10月4日(日)高尾の森わくわくビレッジにて開催された「西東京フェスティバル」に渡辺メンと共に参加した。10月のブリテンで村山担当主事が報告されている様に西東京のプログラムや活動の参加した人とその家族、ボランティアリーダーを中心に約100名が参加、ワイズからは我々2名で私が遅れての参加であったため13:30からのオープニングセレモニーでは渡辺メンにワイズを代表して挨拶していただいた。

会場ではリーダーが中心になって6つのブースを設けそれぞれのブースのプログラムに参加家族が親子で楽しむ姿が見られた。ちなみに各ブースのプログラムは「つくってあそぼう(弓矢を作ってどれだけ遠くに飛ばせるかチャレンジ)」、

「みんなで作ろうアチアチぎょうざ」、「縁日(ダーツ、射的にブラックボックス)」、「ギネスに挑戦(本当にギネスにあるゲームに挑戦してみよう)」、「シャベテルさんのプラバン屋(自分だけのネックレス・ストラップをつくってみよう)」、「ロビンソン第運動会(おうちの人やお友達といろいろな競技にチャレンジしよう)」の6ブース。

そこで提案なのですが、来年は大勢で参加しワイズでも何か面白いプログラムを考えて独自のブースを設けてはどうだろうか。ワイズをアピールすると共に、西東京センターのリーダー達と交流を深め、距離をさらに縮めるのに絶好のチャンスとなるのではないのでしょうか。

## この年を振り返って心に引っかかっていること

副会長 伊佐 節子

会の運営で、問題になる事、皆が参加に消極的であること

誰かがやってくれると他力本願であること

面白くなかったら退会自由である事

それでどうして続いているのだろうか？

自分に当てはめてみると上記のような状態の自分が浮かび上がる。全く持って自己中の固まりだなあーと思う。各係の分担が有るには有るが、主要三役とブリテン、上部役員を除いて成果に関係なく過ごす事ができる。マンネリの中だるみの状態で、年寄りとなり、頑固で融通の利かない、老害をまきちらし、鼻つまみになりつつある事に気がつかないで過ごしている。

こんな事で良いのか、いや決して良くないと思いつつ、なすすべもなく老いていくのは淋しい限りだ。

マイナス思考から脱してプラス思考で頑張ってみる。開き直って自分の弱さを知り、謙虚になって、自分に合った生き方を見つけだそう。

生かされている幸せ、飲食できる幸せ、仲間がいる幸せ、介護されなくて生きている幸せ、仕事ができる幸せ、趣味がある幸せ、戦争が70年なかった幸せ

身近なところに小さな幸せがいっぱい転がっている。

当たり前のこととして感謝して受け止めていなかったところに、幸せが転がっている

ワイズの会も、自分にできることをこつこつとやっていく。活動の方法も、青年の時、壮年の時、老年の時と働き方が異なってくると思う。

否定的でなく積極的に参加することが大切だと思う。まず自分に出来る事から参加しよう。

そして、許されるならば、ワイズのコピー「会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう」で頑張りたいと思う。

## <東京 YMCA 便り>

中里 敦

12月に入りいよいよクリスマスシーズンとなります。イルミネーションやクリスマスの文字が街中に溢れ、賑やかな季節となります。

皆様はじめまして。この度、鳩山さんの後任として西東京センターに異動してきました中里敦です。江東区東雲にある、しなのめYMCAこども園で1年間の開設準備室からたずさわり、5年7月の働きの後、西東京センターへまいりました。YMCAでは、山中湖センター、医療福祉専門学校など、キャンプ場と学校関係での経験が主であり、この度地域センターでの働きの方を与えられたことは、YMCAでの働きを見つめ直す良き場を与えられたと感謝しています。西東京センターは、サポートして下さる方々がたくさんいるセンターだと聞いております。そして、その方々が中心となったプログラムも展開され、YMCAの会員になってくださっている人たちもたくさんいます。西東京センターに来て数日ですが、職員4名の小さな部署にもかかわらず、このように支えてくださる方々がいるからこそ成り立っていると感じております。これからも楽しみながら集えるセンターにしていきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

12月はスキーキャンプが行われ、多くの子どもたちが参加します。多くのボランティアリーダーが、キャンプに向けて準備をしています。キャンプを通して、冬の自然に触れ、一緒に参加するキャンパーやリーダーたちとの交流の中で人間関係を築いていきます。スキーが上手くなった成功体験、仲間との楽しい時間は、子どもたち一人ひとりを成長させていきます。また、リーダーたちにとっても子どもたちから色々な学びをしながら、成長をしていく機会にもなります。今年のキャンプも参加する人たちにとって良き成長の場となるよう祈っております。

今年も皆様のおかげで無事に終えようとしていること、感謝申し上げます。また、来年もよろしく願い申し上げます。YMCAでは様々な所でクリスマスをお祝いいたします。色々な場で皆様とクリスマスをお祝いできることを楽しみにしております。また、各ご家庭においても神様に祝福されたクリスマスをお迎えください。

### <西東京センター及び東京 YMCA の主な予定>

11/30-12/2	実技ディレクタートレーニング (スキー指導法)
12/6	西東京ファミリークリスマス
12/8	ボイストレーニングサークル
12/13	スキーキャンプ打ち合わせ会
12/17-20	スキー実技リーダートレーニング (妙高ユニット)
12/18-20	スキー実技リーダートレーニング (尾瀬ユニット)
12/22	ボイストレーニングサークル
12/26-27	わんぱくキッズ (冬季一泊プログラム 引率：中元)
12/26-30	シュプール・ユースキャンプ (冬季スキーキャンプ 引率：村山)
12/27-30	キッズスキーキャンプ (冬季スキーキャンプ 引率：中里・廣瀬)

12月例会はファミリークリスマス(12・6) Y医療専門学校1時30分です。

忘年会(12・18) 塚田牧場国立店 国立せきやビル4F tell 050-5257-2281 です。

1月例会は在京Ys合同新年会(1・19) 桜美林大学多摩アカデミーヒルズ12時30分です。

